

2DCM-web

複数施設解析版

- 操作手順書 -

Ver.1.0

2018/5/16

概要

本資料は2DCM-web(二次元カラーコードキャリアマップ webアプリケーション版)の複数施設解析版に関する操作手順書です。

本ツールでは、複数施設のJANIS還元情報月報「全データ」(CSVファイル)を使用し、複数施設間の情報をまとめて2DCM-webで解析することができます。

基本的な操作方法はJANISサイトまたは「2DCM実習システム」公開サイトに掲載されている2DCM-web利用手順書をご確認ください。

本手順書では2DCM-webと操作が異なる起動方法について説明します。

本ツールは、JANIS月報CSVファイルのファイル命名ルールを動作に利用しておりますので、名前を変更したファイル、他のCSVファイルでは正常に動作しません。

起動手順

「2DCM実習システム」公開サイトに接続します。
Internet ExplorerまたはMicrosoft Edgeにて、以下のURLに接続し、
「群馬大学 文部科学省特別プロジェクト事業」サイトを表示してください。
<http://yakutai.dept.med.gunma-u.ac.jp/project/index.html>



右下の「2DCM-web実習システム」ボタンを押し、「2DCM-web実習システム」サイトを
表示してください。



「2DCM-web(複数施設解析版)起動」ボタンを押すと、システムが起動します。



[2DCM-web利用手引書\(JANIS版\)](#)

[2DCM-web操作手順書\(実習システム版\)](#)

2DCM-web(複数施設解析版)起動

※ 既にツールを起動している場合は、そちらを閉じてからボタンを押してください。

※ Internet Explorer、Microsoft Edgeでご利用下さい。Internet Explorer、Microsoft Edge以外でも起動出来る場合がありますが、推奨しません。

[2DCM-web操作手順書\(複数施設解析版\)](#)

耐性菌定義ファイル作成ツール起動

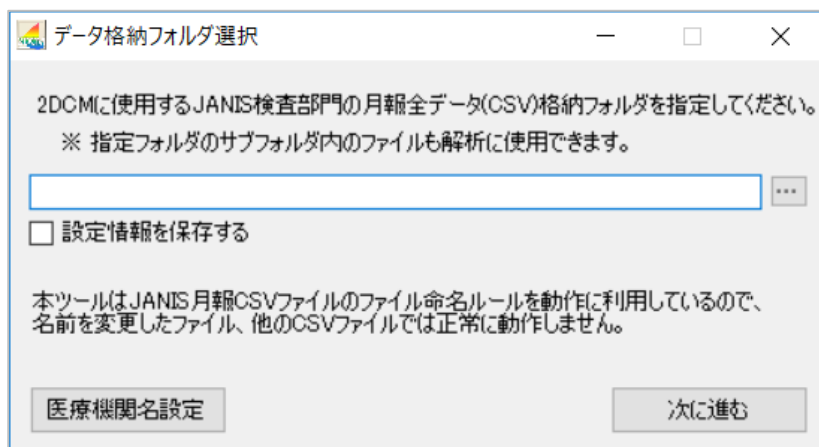
※ Internet Explorer、Microsoft Edgeでご利用下さい。Internet Explorer、Microsoft Edge以外でも起動出来る場合がありますが、推奨しません。

[耐性菌メッセージ定義ファイル仕様書\(PDF:496KB\)](#)

[耐性菌メッセージ定義ファイル作成ツール マニュアル\(PDF:1.22MB\)](#)

・ [定義ファイルsample\(MRSA,CRE,他\)\(CSV:2KB\)](#)

システムが起動し、データ格納フォルダを選択する画面が表示されます。



データ格納フォルダ選択

2DCMに使用するJANIS検査部門の月報全データ(CSV)格納フォルダを指定してください。

※ 指定フォルダのサブフォルダ内のファイルも解析に使用できます。

...

設定情報を保存する

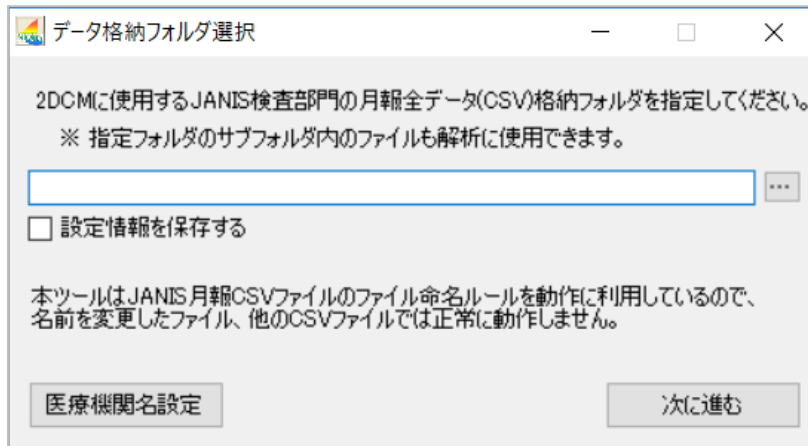
本ツールはJANIS月報CSVファイルのファイル命名ルールを動作に利用しているため、名前を変更したファイル、他のCSVファイルでは正常に動作しません。

医療機関名設定

次に進む

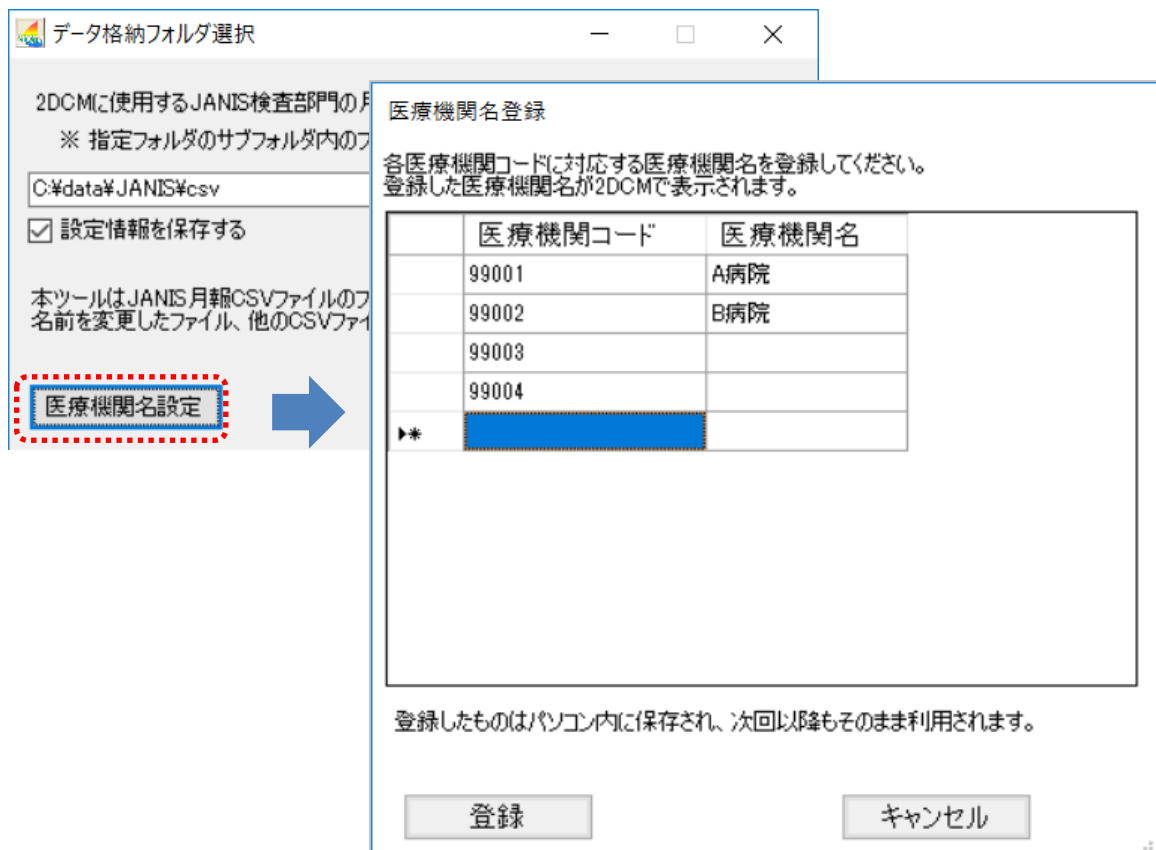
操作方法

システムが起動すると、データ格納フォルダを選択する画面が表示されます。
こちらの画面で、すべての医療機関のCSVファイルが格納されているフォルダを指定し、「次に進む」ボタンを押してください。
入力欄の右の「…」ボタンを押すと、フォルダ参照ダイアログからフォルダが指定できます。
「設定情報を保存する」にチェックを入れると次回の起動時に、指定されたフォルダが初期値として表示されます。

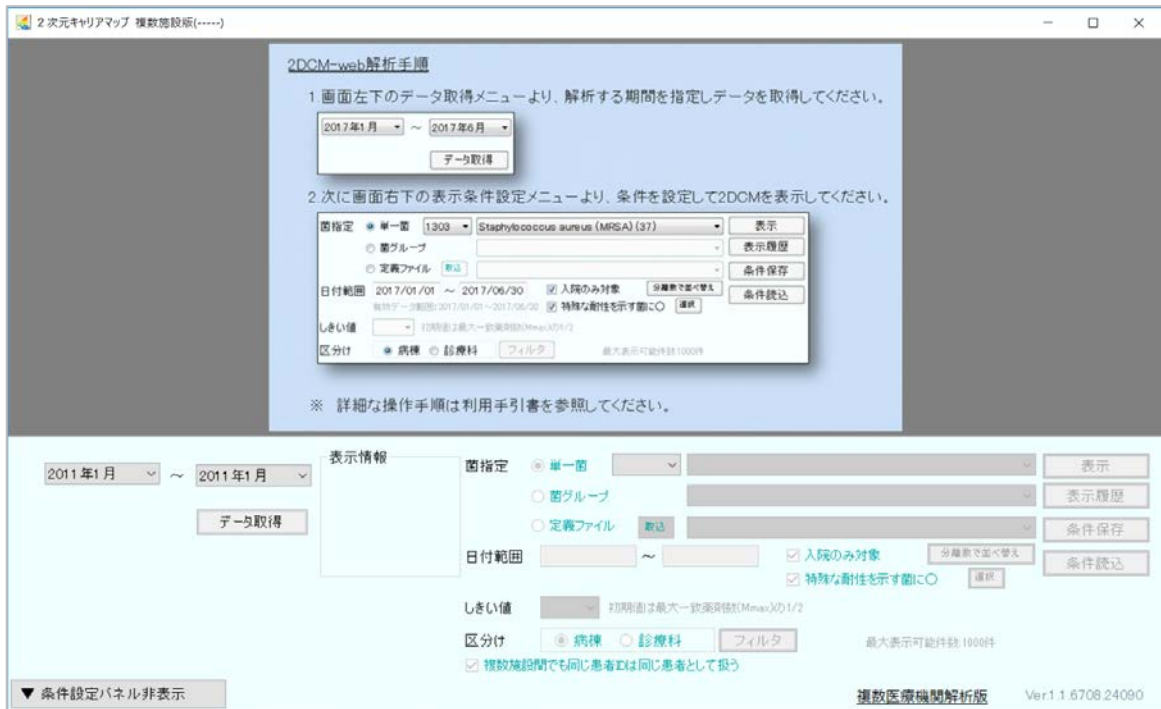


※ ここで指定したフォルダおよびそのサブフォルダ内のCSVファイルを解析の対象とします。
※ JANISからダウンロードしたCSVのファイル名を変更しないでください。
本システムでは、既定のCSVのファイル名に含まれる医療機関コードで、医療機関を区別します。

「医療機関名設定」ボタンを押すと、2DCM上で表示される医療機関名が設定できます。
「医療機関コード」とその医療機関コードの場合に表示する「医療機関名」を入力して、「登録」ボタンを押してください。
一覧には初期値として以前登録した情報と、前の画面で設定したCSV格納フォルダ内にある医療機関情報（医療機関コードのみ）が表示されます。



CSV格納フォルダを指定して「次に進む」ボタンを押すと、2DCMのメイン画面が表示されます。基本的な操作方法は通常の2DCM-web利用手引書をご参照ください。



【複数施設版の特殊機能①】

「複数施設間で同じ患者IDは同じ患者として扱う」にチェックを入れると、異なる医療機関で同じ患者IDが設定されているデータを同じ患者として扱われ、同じ患者IDの四角が、医療機関を超えて線で結ばれます。

しきい値 0 初期値は最大一致率(Mmax)の1/2

区分け 病棟 診療科

複数施設間でも同じ患者IDは同じ患者として扱う

料名	医療機関	診療科名	病棟		
	A病院	皮膚科	4A	0	0
液	B病院	小児科	3B	0	
採痰	B病院	心臓血管外科	4B	0	0
採痰	B病院	心臓血管外科	4B	0	
洗浄液	B病院	呼吸器内科	4B	0	0
	D病院	皮膚科	4A	0	0

2009/12/27 2010/01/03 2010/01/10

【複数施設版の特殊機能②】

2DCM上の検体情報の線は下記の線で区切られます。

- ・ 各検体情報 … 灰色の細線
- ・ 各患者 … 黒色の細線
- ・ 病棟または診療科(※) … 黒色の中太線 ※ 「区分け」で設定した区分
- ・ 医療機関 … 黒色の太線

料名	医療機関	診療科名	病棟		
	A病院	皮膚科	4A	0	0
液	B病院	小児科	3B	0	
採痰	B病院	心臓血管外科	4B	0	0
採痰	B病院	心臓血管外科	4B	0	
洗浄液	B病院	呼吸器内科	4B	0	0
	D病院	皮膚科	4A	0	0

2009/12/27 2010/01/03 2010/01/10

病棟の区切り線

各検体の区切り線

各患者の区切り線

医療機関の区切り線

改版履歴

Ver. 1.0 2018/5/16

キーウェアソリューションズ株式会社 中川 岳人